



生活交通と観光交通のダブルチャンネルで バスの利用価値を高める

(北部生活観光バス(あわ神あわ姫バス)路線の構築)

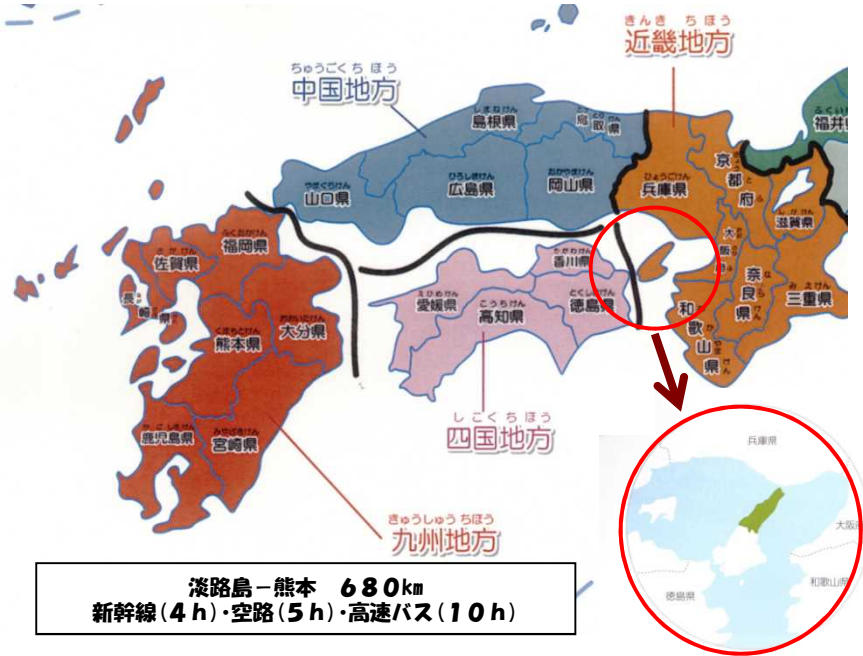


地域公共交通のあり方を考えるシンポジウム2018 in 九州

2018年(平成30年)10月

兵庫県淡路市

淡路市の位置・地勢等



1. 位置と地勢: ガーデンアイランド・淡路島の玄関口

- (ア)位置: 兵庫県の瀬戸内海側
- (イ)市の誕生: 平成17年4月に誕生
- (ウ)面積: 184km²
- (エ)人口: 44,485人(高齢化率36.7%)

2. 気候: 太陽の光に恵まれた温暖環境

- (ア)年間平均気温: 15~17℃
- (イ)年間平均降水量: 1,100mm

3. 土地利用: 自然とともに生きる地域づくり

- (ア)土地利用: 宅地の割合が低く、田や山林が中心で
漁業を含め、第1次産業が盛んな地域

4. 観光交流: 神戸大阪から1時間以内

- (ア)観光資源: 世界一長い吊橋: 明石海峡大橋



明石海峡大橋



鳴門海峡と渦潮



淡路島国営明石海峡公園

日本遺産: 鳴門海峡と渦潮

花と緑: 淡路島国営明石海峡公園

神社・仏閣: 伊弉諾神宮

体験: おもちゃの玩具吹き戻し



伊弉諾神宮



おもちゃの玩具
吹き戻し



淡路島の生しらす

- (イ)食フランド: 淡路島の生しらす・淡路島牛丼・
淡路島バーガー等がフレイク

- (ウ)観光交流人口: 年間約1,300万人

淡路市の公共交通ネットワーク



公共交通ネットワーク

主に沿岸部を運行する**路線バス**、高速道路を運行する**高速バス**、明石港と岩屋港を結ぶ**高速船**がある。特に、高速バスに乗り換えるパーク&バスライドの利用が多いことが特徴で、その他、路線バスに接続する**コミバス**等の補完的な公共交通もある。



**■路線バス事業は採算性の観点では、ほとんどが補助路線であり衰退傾向。
→近年の傾向（歯止めがかからず、減便・路線廃止）**

路線区分	凡例	路線名称	運行本数 平成29年度
路線バス		縦貫線	23便
		西浦線	17便
		鮎原線	12便
計			52便
コミバス		岩屋コミバス	22便
		北部コミバス	17便
		山田デマンド	8便/日
		興隆寺マイカ	1回/5日
スクールバス混乗化		長沢ミニバス	10便/日
		一宮中スクール	6便/日
		北淡中スクール	6便/日
計			70便
合計			122便

路線区分	凡例	路線名称	運行本数 平成17年度
路線バス		縦貫線	80便/日
		西浦線	24便/日
		鮎原線	12便/日
計			116便/日
スクールバス混乗化		長沢ミニバス	6便/日
計			6便
合計			122便/日

**便数比較
路線バス (52便) < コミバス (70便)**

交通政策担当者 困ったなあ 重要なことは 何から取り組むべきか



困ったなあ

- ・人口減少社会だからなあ・・・利用者が少なくても仕方がないなあ
- ・いきなり公共交通空白地にする訳にはいかないなあ
- ・バス網の再編って気が重いなあ（路線競合）
- ・既存事業者との調整をすると、ロクな路線にならないしなあ
- ・他の移動手段との役割分担も必要やしなあ
- ・まちづくりとの連携も・・・



- ・どこから手をつけたら良いのか、わからないなあ

重要なことは 何から取り組むのか

- ・本当に困っている人は誰なのか
- ・そのためには…現場を見ること、話を聴くこと

現場に行くと・・・このバス停では



【現場の見方・感じ方】

- ・バス停の状況はどうか
- ・路線はこれでええのか
- ・視野を広くして地形はどうか
- ・人口密度はどうか
- ・自分が運賃を支払って乗ってどう感じるのか など
- ・乗換・乗継はスムーズなのか
- ・ダイヤこれでええのか
- ・周辺施設には何かあるのか
- ・企業はあるのか ・生活圏域はどうか

バス停の状況では

- ・・・淡路高校前では、マイカー通学で非常に**危険**
- 岩屋港では、路線バス同士の乗継や
高速船への乗換がNG
- 高速バス停では、路線バスとの乗換がNG



周辺施設には

- ・・・花緑公園や体験施設があるのだが、バス路線が走っていない



潜在的な需要はあるのでは・・・

通学(淡路高校)の移動手段とニーズ



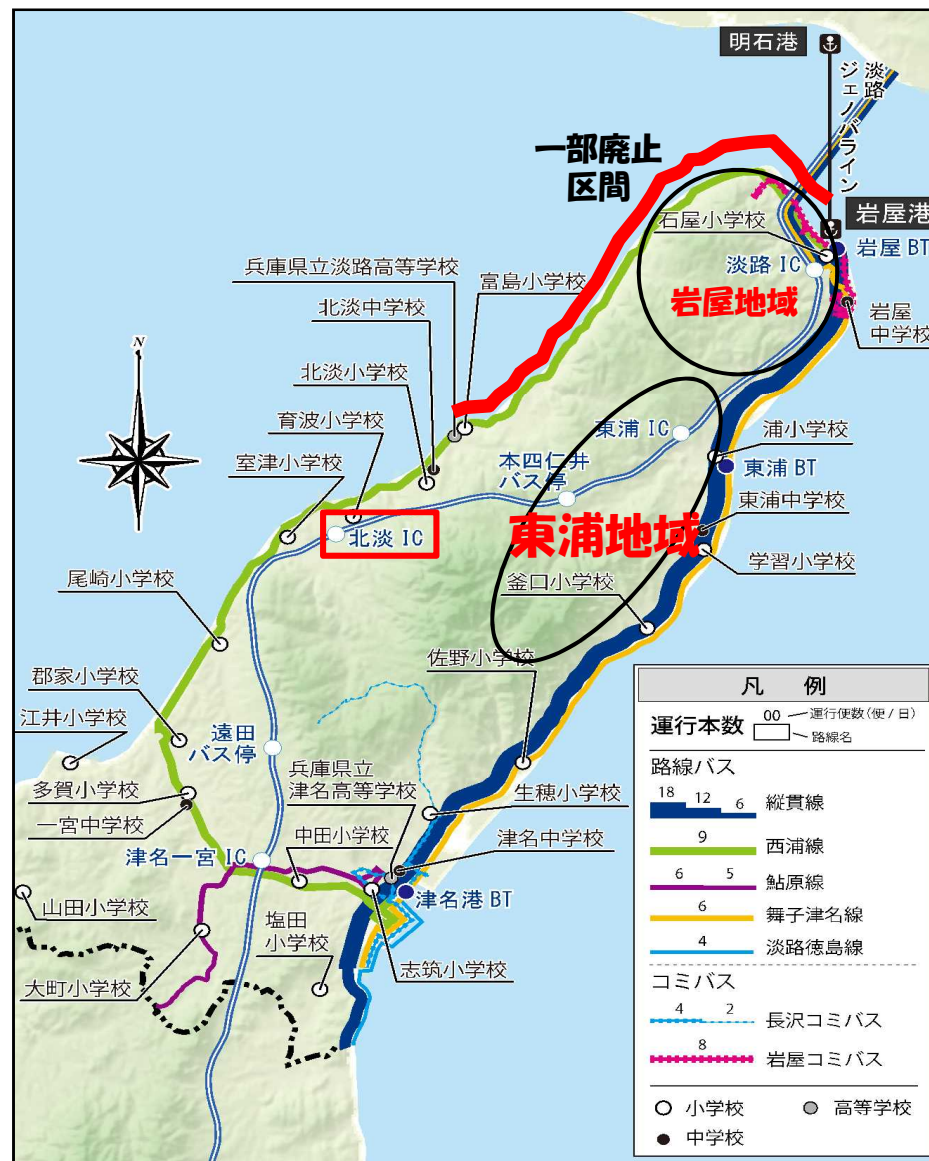
**東浦・岩屋地域の学生は、始業
終業時間帯の路線バス同士の
乗継が不便。(岩屋港で)**

(島外からの学生も、北淡ICから遠回り)

学生がバスを利用すれば乗車率は向上するかも…
(島内56名中マイカー通学45名)

- 要望① 始業・終業時間・部活動終了後の便
- 要望③ 運賃を安く
- 要望② 便数を多く

高等学校	淡路市 (出身中学校)					洲本市	南あわ じ市	島外・ その他
	津名	東浦	岩屋	北淡	一宮			
淡路高校	67	37	19	68	49	10	39	7
津名高校	207	65	1	80	116	1	4	3
合計	274	102	20	148	165	11	43	10



岩屋港での乗継や乗換の現状



① 路線バス同士の乗継 (西浦線と縦貫線の乗継)

北淡方面から東浦方面へは、午前は**最大4時間**の空白時間帯がある。

東浦から北淡へは、午前は**最大80分**待ちあり、午後**最大120分**待ちもある。

② 高速船から路線バスへの乗換

明石方面から東浦方面へは、**最大120分**待ち。

一方、明石から北淡へは、**最大180分**待ちもある。

③ 路線バスから高速船への乗換

東浦や北淡から明石へは、高速船の便数が多いため**乗継良好**である。

高速バス(停)での乗換の現状

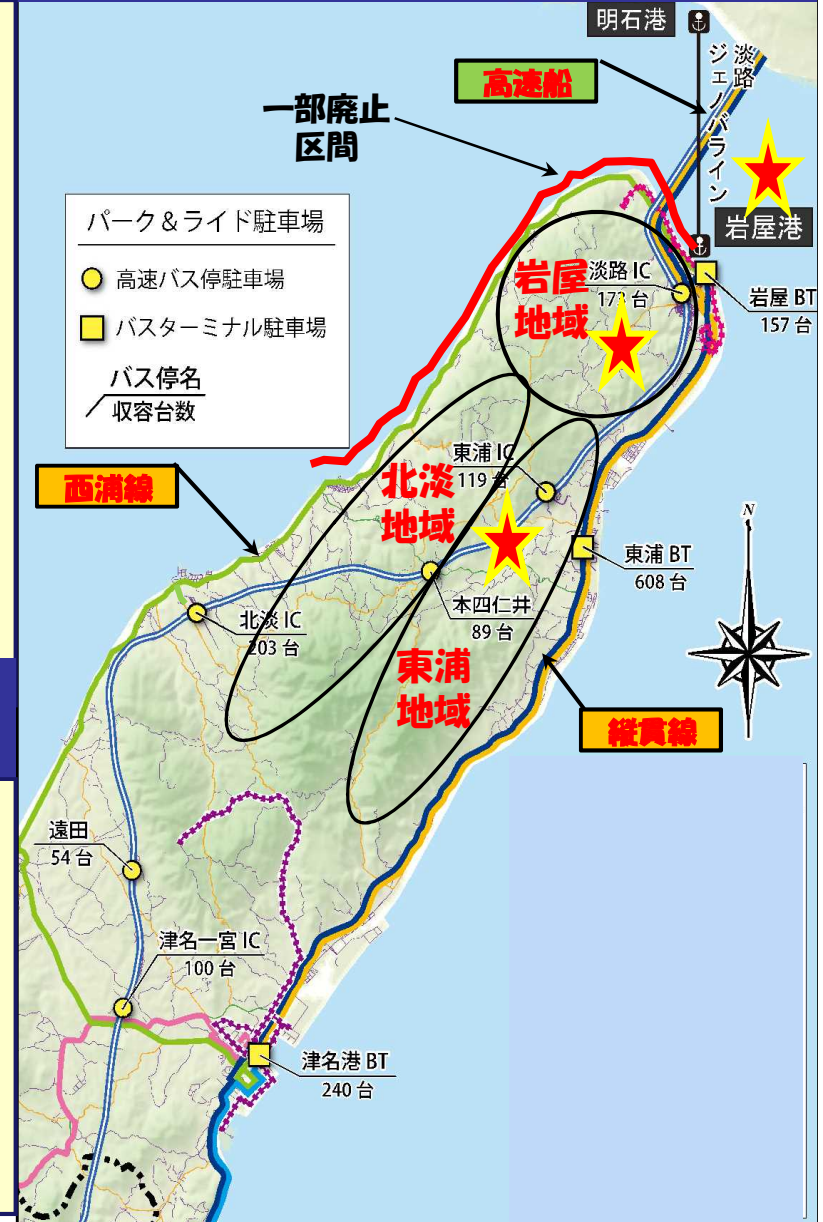
運行本数(往復便)

平成17年度(232便/日)と平成26年度(158便/日)比較=減少しているが、**約10便/時間(約5分に1便)**に運行。

しかし、**路線バスへ乗換**ができないICがある。

廃止区間(3km以内)に

淡路ICバス停 と 本四仁井高速バス停



観光客の移動手段とニーズ



淡路島地域の観光入込客数
 平成10年度：2,300万人/年
 (神戸淡路鳴門自動車道開通の影響)

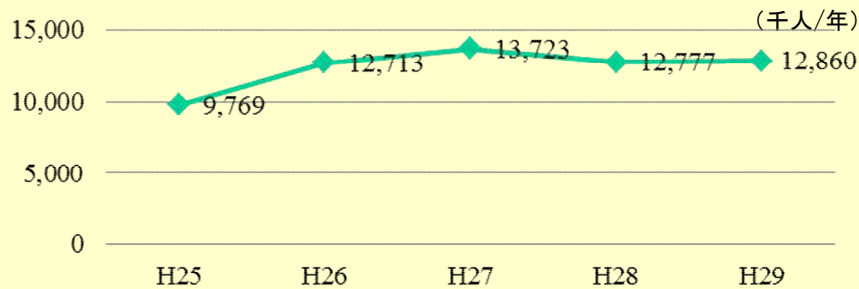
↓ その後(平成13年度～1,000万人微増)
 1,300万人/年(直近)

うち淡路市800万人(全体約60%)

- 自家用車 480万人(約60%)
- 貸切バス 240万人(約30%)
- 高速バス・高速船 80万人(約10%)

日帰りの観光周遊
 目的は、食・自然鑑賞・観光体験・温泉など

淡路島地域の観光入込客数



今後の動向(計画) ①兵庫県公立高校の学区編成

**2015年度(平成27年度)より
公立高校が学区編成(予定)。**
(学校選択の拡大:島外の学生誘致)

**淡路高校は、調理師免許が取得できる県内唯一の
公立高校**

→ 岩屋港か本四仁井高速バス停がPOINT



② 聖隷淡路病院の移転開設



**病院は、1955年度に岩屋地域の町中に開設され、
2014年度(平成26年度)に地域医療の充実、
救急医療の核として花博跡地に移転開設(予定)。**

**移転開設後のアクセスは、「最寄りのバス停から
徒歩約20分」 → 路線の見直し**

北部生活観光バスの路線イメージ



高速バス及び高速船の拡充維持や観光振興に資する公共交通サービスを基本方針とし、**生活交通の路線域拡充と観光交通ルート**の構築を行うことで、効率的で利便性の高い公共交通ネットワークの実現を目指す。

(方向性)

1. 運行形態

市町村運営有償運送事業(道交法第78条)：路線定期運行

2. 公共交通ネットワークの構築

・ **路線域を拡充し、双方向を運行する循環型で路線の構築**

- ① 高速バスへのアクセスの強化 (1箇所→3箇所)
- ② 路線バス同士の乗継ぎの充実 (4時間待ち→30分)
- ③ 通学ルート of 構築 (1ルート→2ルート)

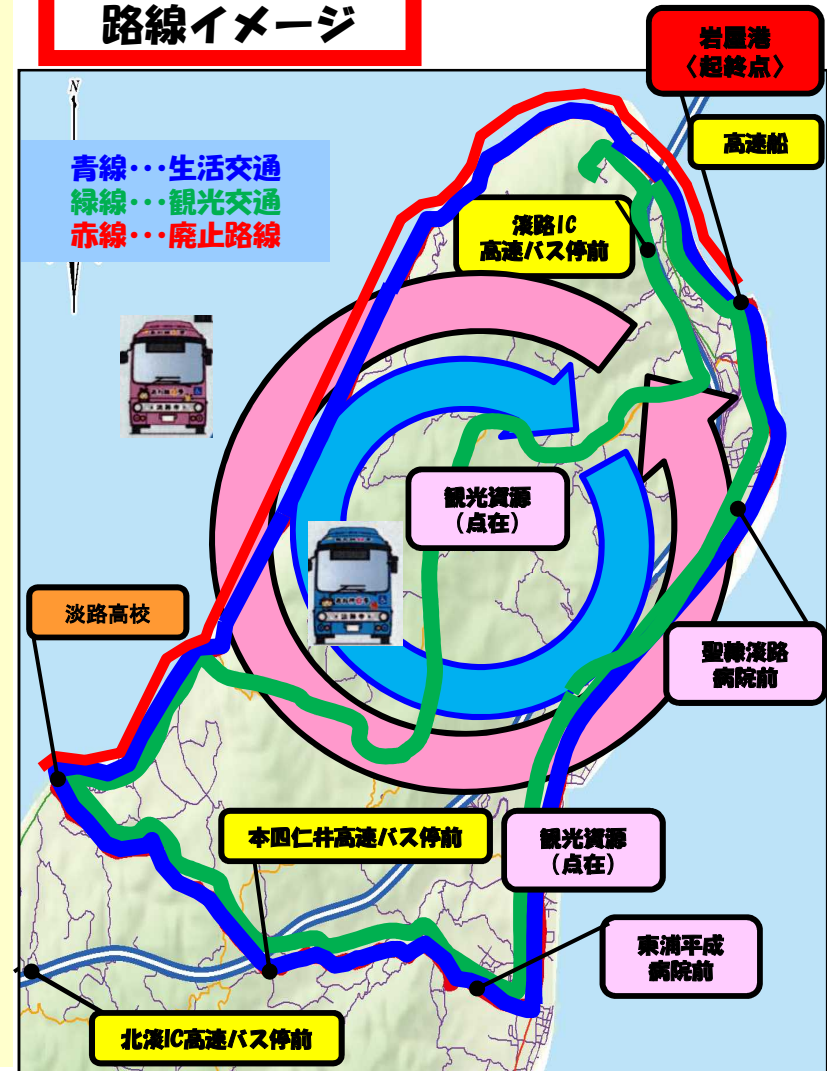
・ **生活交通は、観光客の需要量で維持確保**

- ④ 観光周遊ルートの構築 (無→有)

・ **通学ニーズ等を踏まえ、ダイヤ・運賃等の調整**

- ⑤ 学校の始業終業時間等に合わせ。
- ⑥ 高速船からの乗継ぎの充実 (3時間待ち→1時間)
- ⑦ 運行時間帯の延長 (19時台まで→21時台)
- ⑧ 運賃料金の低廉化 (加算料金→均一料金:500円)
地域住民300円(高校生・高齢者200円台)、観光客500円
- ⑨ 低床型ノンステップバスの導入 (0台→3台)

路線イメージ





- 1. 路線・系統・頻度**
- 2. ダイヤ**
- 3. 運賃・収支**
- 4. 車両**
- 5. 他路線との乗継乗換**
- 6. 情報提供**

実現するための手法と当然投資が必要



運行の総事業費36,000千円

(収入)		(支出)		補助	
【計画】 運賃収入等 (15,000千円) 46,000人見込	車検代・保険料等 (2,000千円)	補助 (国)	・地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金(運行経費)	実質負担額の2分の1以内	
	修繕費 (1,000千円)				
市委託料 (21,000千円)	燃料費 (13,000千円)	補助 (県)	・車両減価償却費等国庫補助金	車両購入費1台あたり7,500千円	
	運転手人件費等 (20,000千円)		・市町振興支援交付金(運行経費)		
【収支計画 (潜在的な需要要素を加味)】				実質負担額の20分の1	

運行事業者は、公募型プロポーザルで決定

(本四海峡バス(株))

※公募要項：市収支計画額と実績額との差引額は、事業者の負担分や努力分として責務。

【実績】運行事業者の負担努力額

1年目(H26年度)

→ 33,940人・4,000千円

事業者負担額

2年目以降(H27年度)

→ 49,780人・計画利用人数以上

事業者努力額

運行に関する財源確保

- ・国庫県補助制度・過疎債・合併特例債
- ・ふるさと納税基金・地域の資産活用等

車両 マイクロバス29人乗り (3台)



低床型ノンステップバス29人乗り(3台)

運行開始までのスケジュール



項目	内容	平成23年	平成24年								平成25年									平成26年									平成27年		
		4	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	...
バス事業者から西浦線一部区間撤退意向	起終点を岩屋PTから北淡震災記念公園へ変更(起終点の場所確保・ダイヤ等)		①協議																												
バス事業者との路線協議	北部コミバスの運行路線・ダイヤ・便数・所要時間・運賃・実施日等		②協議																												
バス事業者から西浦線正式撤退申出	起終点を岩屋PTから北淡震災記念公園へ変更確定						③撤退申出																								
地域住民の意見調査	北部コミバスの運行に関して市広報等で意見徴収		②意見徴収																												
バス停設置場所の協議・制作設置	警察・国道・県道・市道・民有地の管理者		②協議																												
淡路市地域公共交通会議	北部コミバスの路線運行企画提案・承認																														
	北部コミバスの路線運行実施計画の提案・承認																														
運行事業者の選考審査等	プロポーザル候補者選定審議会の設置・開催・運行事業者決定																														
国県との協議・補助等	H26年度NW計画(フィーダー系統)協議・申請・内定		②協議																												
時刻表の印刷・周知	地域住民への周知																														
淡路市地域公共交通会議	路線見直し・車両購入・コミバス評価基準・H26年度NW計画(フィーダー系統・車両購入)変更申請の提案・承認																														
国県との協議・補助等	車両H26年度NW計画(フィーダー系統・車両購入)協議・変更申請・内定																														
	H26年度NW計画(フィーダー系統・車両購入)交付申請のヒアリング																														
	H26年度NW計画(フィーダー系統・車両購入)交付申請																														
	[※以降予定、交付決定・交付確定・交付金納付]																														
淡路市地域公共交通会議	H27年度NW計画(地域内フィーダー系統等)の提案・承認																														
国県との協議・補助等	H27年度NW計画(地域内フィーダー系統等)の申請																														
	H27年度NW計画(地域内フィーダー系統)の内定																														

平行作業

H26年度
(H25.10.1~H26.9.30)

運行継続
H27年度
(H26.10.1~H27.9.30)

利用促進の向上策(取組活動)



淡路高校の取組活動

- ・ **島外(内)中学校へのアプローチ**
(学校訪問・オープンスクール)

運行事業者の取組活動(観光客)

- ・ 公共交通機関を乗継ぎ、温泉や観光名所等を巡る
観光お勧めコース&企画乗車券の設定

市行政の取組活動(主として地域住民)

- ・ 月刊号**広報誌**
- ・ 市議会議員との**連携**=定期的に地域で会合
- ・ 大学連携&モニターツアー(テレビ・ラジオ)
- ・ 携帯電話等で**公共交通時刻表検索システム**の整備
- ・ **淡路島総合時刻表マップ**の作成

グルメと花の日帰りコース 10月31日までの土曜・日祝ダイヤ限定

淡路の新しい名物グルメ「生しらす丼」を北淡路エリアで楽しめるコースです。

三宮バスターミナル 8:00 (高速舞子は8:30発)
西日本JRバス「大磯号」東浦バスターミナル行き
大磯港バスターミナル 8:50
三宮バスターミナルは、各線三宮駅前にあるミント神戸の1階です。

大磯港バスターミナル 9:00 あわ神あわ姫バス 西回り
岩屋ボートターミナル 9:18

岩屋ボートターミナル 9:30 あわ神あわ姫バス
観光施設周遊回り
あわじ花さじき 10:03
花と緑の淡路島を代表する観光スポット「あわじ花さじき」を訪れます。

あわじ花さじき 12:08 あわ神あわ姫バス 観光施設周遊回り
淡路警察署富島交番前 12:19
富島で「生しらす丼」のランチを。

淡路警察署富島交番前 14:20 あわ神あわ姫バス 東回り
岩屋ボートターミナル 14:47
ボートターミナルの近くには、同じ淡路の沼島と並んで「国生み神話」で語られてきた「おのころ島」だとされている「絵島」があります。

岩屋ボートターミナル 15:20 あわ神あわ姫バス
観光施設周遊回り
美湯松帆の郷 15:29
松帆の湯は、明石海峡大橋を眺めながら入浴できる温浴施設です。

グルメと花の日帰りコース 10月31日までの土曜・日祝ダイヤ限定

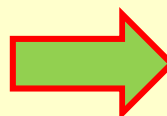
淡路島の生しらす

あわじ花さじき

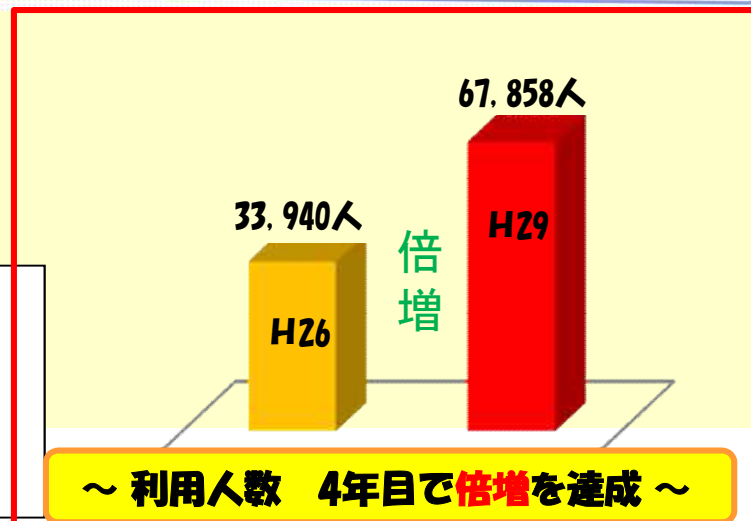
美湯松帆の郷

あわ神あわ姫バス 観光施設周遊回り
道の駅「東浦ターミナルパーク」でショッピングや食事などを楽しんでから、神戸へ戻りましょう。

東浦バスターミナル 18:11
JR新神戸駅行き
三宮バスターミナル 20:02 (高速舞子は19:35着)
新神戸駅着は20:12。新幹線へ乗り継ぎます。



- ・ マイカー通学45名 → バス通学20名
- ・ 島外学生 7名 → 60名
- ・ 観光客利用人数 全体15%
- ・ まちづくりの基盤整備：企業誘致6社300人(定住)



運行計画の見直し



淡路市コミュニティバスの評価基準

- (1) 運行に関する基準(最低限の運行便数を設定)
- (2) 利用に関する基準(最低限の需要ラインを示す)
- (3) 運行費用の負担に関する基準
(路線の事業採算性、運行計画の妥当性を示す)

(1) 運行に関する基準

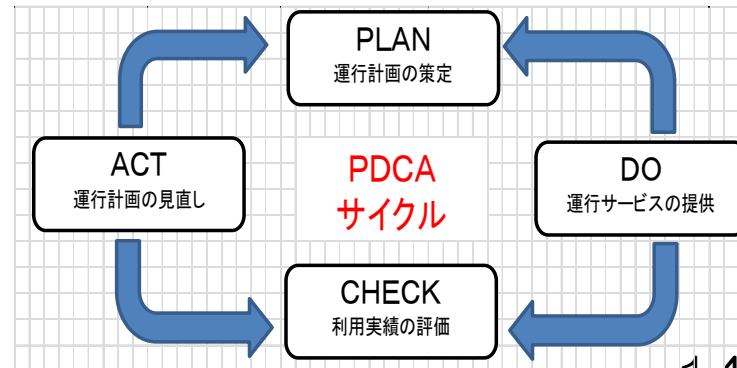
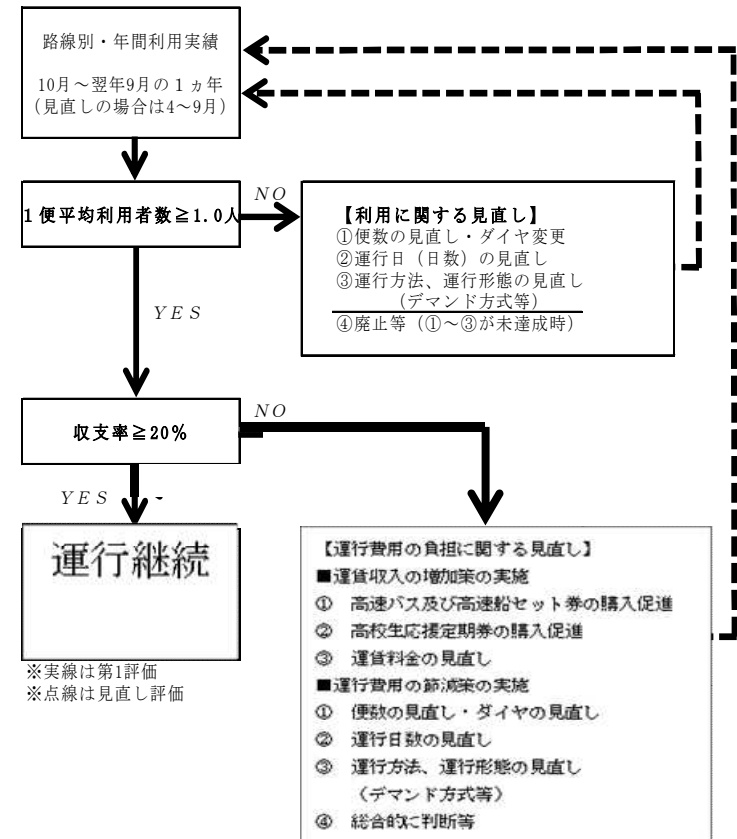
- (ア) 日常生活の活動ができるよう少なくとも**週2日は乗合**運行。
- (イ) 運行する日は、少なくとも**往復(循環)2便**の運行。

(2) 利用に関する基準

「乗合」を基本としているため最低でも
便平均利用者数1.0人が乗合っている。
 ※(便平均利用者数) = (総利用人数) ÷ (総便数)

(3) 運行費用の負担に関する基準

・運行費用は、利用者等から得る運行収入と本市(国県補助含む)負担とし、**収支率20%以上**。
 ※(収入率) = (運行収入) ÷ (運行費用) × 100%



淡路市コミュニティバス評価基準の結果



年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
①利用人数	33,940人	49,780人	57,919人	67,858人
②便数	7,879便	6,534便	6,209便	6,193便
(3-A)全体の平均利用人数(①÷②)	4.3	7.6	9.3	11.0
(3-B)便毎の最小値と最大値	0.5~8.9	1.2~11.0	2.0~11.2	2.8~15.8
④運行費用	36,494千円	36,984千円	38,278千円	39,482千円
⑤運行収入	11,233千円	15,964千円	17,888千円	18,964千円
⑥運行欠損額(④-⑤)	25,261千円	21,020千円	20,390千円	20,518千円
⑦収支率(⑤÷④)	30.8%	43.2%	46.7%	48.0%
※注意1) 便数減少は、運行計画を見直しているため。				
※注意2) 運行費用の増加は、通学時間帯に続行便を運行している。				

振り返ると




- やらなくても減少＝マイナス傾向 ⇒ やってみる＝気持ち（挑戦）
- 実現を目指す
 - ⇒ 知恵と工夫をし、ストーリーを考える※スピード感も忘れずに
 - = 旗振りは行政から（行動）
- 地域住民の公共交通に対する利用意識
 - ⇒ 成果と実感（地域住民がわかるように、形として）
 - = 広報誌3か月に1回・市議会議員や学校との連携※観光事業者も忘れずに
 - = 唯一の移動手段（重要性の認識）（※最悪・・・廃止・・・復活は〇〇）
- 魅力のある島 = 夢の島 = まだまだ発展途上の島
- 故郷・誇り・子や孫への承継（30年先・40年先）⇒ 未来への財産

『高速バスや高速艇の往復券』と『あわ神あわ姫バス1日乗り放題乗車券』
がセットになった便利でお得な『1day 切符』があります。

『1day 切符』を提示して頂くと割引等の特典が得られるお店があります。

1day切符 (①淡路島北部周遊切符、②花・食巡り1day切符) 発売額

①	高速バス (往復券)	+		⇒	新神戸・三宮 BT ↔ 東浦 BT (大人)2,000円 (小児)1,500円 高速舞子 ↔ 東浦 BT (大人)1,500円 (小児)1,000円
②	高速艇 (往復券)	+	あわ神あわ姫バス 1日乗り放題乗車券	⇒	明石港 ↔ 岩屋港 (大人)1,800円 (小児)900円



～みんなに乗って、みんなで守ろう、公共交通を！～

ご清聴 ありがとうございます



淡路市都市整備部都市総務課(未来の公共交通政策室長) (内田)

(E-mail) tetsuya_uchida@city.awaji.lg.jp

(TEL) 0799-64-2125

(FAX) 0799-64-2527